

## 2021 年度 第 1 回市立須坂図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 2021 年 6 月 28 日(月)午後 2 時～3 時 30 分
- 2 開催場所 市立須坂図書館 第 1 講習室(西館 2 階)
- 3 出席委員 長坂委員長、目黒副委員長、西澤委員、西澤委員、竹前委員、富沢委員
- 4 欠席委員 島田委員
- 5 事務局 田中文化スポーツ課長、文平図書館長、北澤管理係長
- 6 配布資料 2020 年度図書館事業報告及び 2021 年度事業計画

### 7 会議状況 各事項について事務局説明後、質疑（◇は委員の発言、◆は事務局の発言）

(1) 2020 年度図書館事業報告について

(2) 2021 年度図書館事業計画について

◇コロナ感染防止対策として、図書館では入口で全員が検温や手指消毒をし、返却された本の消毒もされているので、安心して利用している。

◆読書室の利用時間を区切り、長時間の滞在はご遠慮いただくなど、できる限りの感染防止対策をしてきた。「図書除菌機が全国的に導入されているので須坂図書館にも設置してほしい」という声もあり、今年 5 月に図書除菌機を 2 台購入し、行列にならないよう、入口と館内の階段付近の 2 か所にそれぞれ設置した。◇図書除菌機を使ってみた。紫外線でどの程度きれいになるのか、見てもわからないが、本の中まで全部きれいになるのか表面だけなのか聞きたい。

◆購入した図書除菌機は本の表面を除菌するもの。A4 サイズの本を一度に 3 冊入れて除菌できる。紙芝居を 1 枚ずつ取り出して除菌していく利用者もいる。基本は、返却された時に職員が消毒液で拭いているが、館内で不特定多数の人が触った図書等を持ち帰るのが心配という利用者のために、図書除菌機を設置した。◇たとえば文庫本サイズの 100 ページの本を中まで除菌したいのなら、開いて除菌すればよいのか。

◆1 ページずつ開いてやればできる計算にはなるが、1 回の除菌時間は 45 秒なので全ページやるには時間がかかるし、紫外線を必要以上に多くあてることは、本にあまりよい影響を与えないので、表面だけの除菌ということでご理解いただきたい。

◇いずれにしても、世間では、身の回りのものはお札も含めて全部除菌する人がいると聞くので、そのような人にとっては安心につながったと思う。

◇図書除菌機は 2 台設置したということだが、1 台のおよその単価はいくらか。

◆1 台約 29 万円。

◇入館者数が前年度より少ないのは、人が借りた本を借りるのは嫌だという人が多いからなのか？

◆そういう理由なのかはわからないが、コロナ対策で、閲覧室等を利用できない期間は、新聞等を読みに来ていた人たちは入れなかった。また、感染経路の特定に協力するため、入館時に利用者カードを提示してもらい番号を読み込むようにしたところ、それが嫌で、新聞や雑誌を閲覧しに来なくなった人はいる。個人情報に気はつかっているが、開館時間から閉館時間まで長時間滞在していた人も来なくなった。

◇前年度と比べて、入館者が減った分、貸出冊数も減ったのか。

◆入館者数は前年の 6 割程度で、貸出冊数は前年の 8 割程度。一人で来ても、家族の利用者カードを預かってきていて、数十冊借りていく人がいる。

◇図書館でしっかりと感染対策をやっていることがわかった。学校では、毎日健康カードを出し黙食している。学校でも 1 年目と 2 年目とではやり方が変わってきている。最初からうまくやってきたわけではない。

◇コロナの影響で本の貸出冊数等が減るのはしかたないと思う。蔵書冊数は増えていて充実させているようだが、図書館として何か目標数値はあるのか？

◆須坂図書館は開館当時 14 万冊規模の所蔵能力があると引き継がれており、現在は 20 万冊以上所蔵している。日本図書館協会が平成 24 年に作成した目標基準例(各人口段階での住民一人当たりの貸出資料数上位 10%の市町村の平均数値)では、人口 5~6 万人規模の資料費は住民一人当たり約 326 円とある。また、平成 30 年度の 19 市平均は約 230 円で、同年の須坂市の資料費は 179 円だったので、これらの金額に少しでも近づけるよう努力していきたいと思う。

◇そういう目標値があるなら、少しでも近づけるように頑張ってもらいたい。

◇図書の充実は、文化水準のひとつの指標だと思う。

◇テーマコーナーについて、もっと来館者にアピールしても良いと思う。新刊コーナーはすぐに目につくが、他のテーマコーナーをもう少しわかりやすくすると良いと思う。毎月のおすすめテーマのコーナーは、職員の能力が表れる。大人向けにも子ども向けにもおすすめテーマがあれば、借りるときに参考になるし、職員の能力の向上にもつながるので、相乗効果があると思う。

◆新刊コーナーはもともと入口付近にあったが、入館時の検温等の機械を設置したため、今はカウンターの向かい側に移動した。今までも利用しやすいように工夫してきたが、今後も工夫していく。

◇学校に本を貸し出すだけでなく、学校とタイアップで本の楽しさを知ってもらうような工夫も必要と思う。

◆配本室の図書は、市内の小中学校や公民館などへの団体用として貸し出し、支援している。各学校には何か支援できないか声掛けをしているが、司書の先生の考え方もあるので、現状は難しい状態。各学校には読み聞かせの団体が入り込んで良い関係をもっている。

◇小学校では、休み時間の自主的な活用はあるし、授業の中でも、クラスごとに図書館(室)を使う時間が決まっている。基本的に子どもたちは図書館(室)が好き。学校でも司書の先生が「〇〇コーナー」をつくったりして工夫してやっている。

◇地元の小学校で読み聞かせをやっている。市内では早い取り組みで、20 年以上続いている。昨年はコロナの影響で読み聞かせに行けない時期があったが、今年度は他の学校でも読み聞かせの活動が元に戻りつつあるようだ。読み聞かせは、毎月テーマを決めてやっている。

◇中学生になると本を読まなくなる。図書館も利用しなくなる。人に勧められるほど寄り付かない。だから、せめて小学校で本の楽しさを知ってもらい、高校生になったらまた本を読んでもらいたいと思う。

◆2階の読書室の近くに YA コーナーがあり、若者向けの図書を置いている。読書室でテスト勉強をするだけでなく、本を借りて帰ってほしいと考えている。

◇20 年ほど前に図書館職員がブックトークをやってくれたことがあった。今の時季なら梅雨のテーマとか。それを見ていたら本を読みたくなったので、それが良かった。中学生にそれと同じ効果があるかわからないが、テーマコーナーにそういうブックトークのような表示をしたらどうか。

◇高校生も、県内の図書館の蔵書を調べて専門的な本を借りる生徒がいる。須坂図書館には農業のことを調べられる「ルーラル電子図書館」があるので良いと思う。知識は大事だけど、知識をもとに生きる力をつけることが大切。造園設計の学習でも、社協で車いすのことも学ぶなど、いろいろなことがいろいろな形でリンクしている。

◇今の子どもたちは、本を読むよりもネットですぐに検索して答えを出してしまう。子どもたちにある程度のことを伝えてから「〇〇の本を読んで見つけてみて」「〇〇の本に答えがある」と話すと、その本を読んでもくれると思う。そういう世代であるので、我々大人が考え方を変えないといけないのかもしれない。

◇借りたい本が見つけれないときに職員に聞くと、すぐに探して持ってきてくれるのでありがたい。

◇カウンターの上に飾ってあった「須坂図書館」という扁額の修理は今年度中にできるのか？

◆今年度中に修繕する予定。